



第156号

# 歳遊記

さいゆうき

《発行》  
公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会

〒790-0843 松山市道後町2丁目9番14号  
ひめぎんホール別館内  
TEL 089-925-7424



（公財）愛媛県老人クラブ連合会  
会長 鈴木 尊

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございませう。皆様方には、穏やかに新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

さて、昨年度も広島市の豪雨による土石流や木曾の御嶽山の噴火によって多くの尊い命が失われる惨事が起き、わが国が災害列島であることを再認識させられました。羊年の今年には災害のない穏やかな年であって欲しいと願わずにはられません。

皆様もご案内のように、わが国は人口減少や超高齢化など直面する構造的な課題が深刻であり、その解決の糸口



新年挨拶  
愛媛県知事 中村時広

新年明けましておめでとうございませう。皆様方におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、県におきましては、「高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現」を重要施策の一つに掲げ、平成二十六年から新たに、「元氣な高齢者の方々を対象としたアクティブシニア事業を展開しております。

具体的には、介護のお手伝いをしていただく支援者や地域の見守りネットワークづくりのリーダーを養成すると

ともに、高齢者自身が健康でいきいきと暮らせることを目的に、介護ボランティア養成研修を実施しているほか、高齢者の方々にいつまでも健康で、生きがいを感じ、仲間との友情を深ぐんでいただくため、県内各地でスポーツサイクリングの体験会を行っています。

一年目を迎える今年は、これらの事業が地域に根付き、高齢者の皆様方が豊富な知識と経験を存分に発揮され、ますますお元気で活躍できるよう取り組みを進めて参りたいと考えております。

「観光立国」や「女性が輝く社会」地方創生 など様々な課題が提案されています。そんな中において、増え続ける高齢者の私たちにっては、年金や要介護、孤立、消費者被害の拡大などさまざまな問題が表面化しています。私たち老人クラブは、これまで仲間づくりを基本に、生きがいづくり、健康づくり、地域づくりを目指す幅広い活動を実践してきました。私たちはこの経験を生かして、住み慣れた地域で安心して生活を続けるために、自らの健康寿命をのびし、仲間同士の見守りや生活支援による支え合いを通じて、直面する課題に対応した活動に取り組む

と同時に、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と連携して、共にあたたかな絆で結ばれた地域づくりを担っていかねばなりません。なお、昨年度、全老連の「百万人会員増強運動」に呼応して、県老連では「二万人の会員増強運動」を機関決定したところですが、それぞれのクラブにおいても数値目標が設定されていると承知しています。その目標達成のため、総力を挙げて取り組んで頂ければと願っています。なお、取上げて欲をいえば、若手会員の加入と消滅したクラブの復活や新規クラブの立ち上げ等にも目を向けると同時に、より魅力ある老人クラブ、存在感のあるクラブづくりのために、今後なお一層のご尽力を頂ければ有り難いと思っております。終わりに、各老人クラブのますますの発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。 感謝合掌

## 第56回四国老人クラブ大会

今年度は香川県で開催、愛媛県から46名が参加



四国老人クラブ大会は八月五日（火）に香川県琴平町の「ことひら温泉 琴参閣」にて開催されました。台風十二号がもたらした大雨の影響により、一時は開催も危ぶまれ、特に被害の大きかった高知県は鉄道などの不通により多くの方が欠席を余儀なくされましたが、本県からの参加者四十三名を含む約三百四十名が琴平に集いました。大会は、大会長である香川県老連の

藤川恵一会長の開会あいさつ、表彰、浜田恵造副知事他の来賓祝辞などの式典があり、続いて香川大学教育学部長の山神真一氏による記念講演「生き生き 浮き有喜 シルバライフ」が行われました。そして、休憩をはさんで各県の活動事例発表があり、その後大会宣言を採択して閉会しました。活動事例発表では、本県から、四国中央市中曾根地区老人クラブ知新会の会長篠永一成さんが、中曾根地区における地域支え合い活動についての発表を行いました。来年度は愛媛県での開催となります。

## 平成27年度 主な行事予定

- 平成27年度 第56回愛媛県老人クラブ大会  
日時：平成27年9月2日（水）
- 平成27年度四国老人クラブ大会  
日時：平成27年9月2日（水）
- 平成27年度中国四国ブロック  
日時：平成27年8月30日（水）
- 老人クラブリーダー研修会広島市大会  
日時：平成27年7月9日・10日
- 平成27年度第44回全国老人クラブ大会（静岡県）  
日時：平成27年10月28日・29日
- 平成27年度 愛媛県老人クラブスポーツ大会  
日時：平成27年10月21日
- 平成27年度 愛媛県老連健康づくり大学校  
開催予定地：鬼北町

### 第54回愛媛県老人クラブ大会開催

去る九月四日、ひめぎんホールサブホールにおいて、県下市町老連から会員八百名が集い、第五十四回愛媛県老人クラブ大会が開催されました。

大会では、参加者全員による国歌斉唱のあと、物故された老人クラブ関係者に対し黙とうを捧げました。そして鈴木尊県老連会長の挨拶に続いて、老人クラブに貢献された個人・団体等に対する表彰が行われました。今年度からは、大会メインテーマが「のぼさうー健康寿命、担おうー地域づくりを」に一新され、老人クラブの会員増強及び活性化を図るため従来の「会員増強クラブ表彰」に加え、新設または復活したクラブに対し「新設クラブ賞」が贈られることになり

ました。

なお、各表彰の内訳は以下の通りです。(知事表彰として高齢者福祉関係功労者十三名、会長表彰として優良老人クラブ十七クラブ、老人クラブ活動功労者四十四名、褒たがり老人優良介護者八名、会員増強クラブ百二十三クラブ、新設・復活クラブ十六クラブ) 式典の後は、愛媛県歴史文化博物館の専門学芸員、大木敬久氏による「愛媛・生老病死の民俗・現代の葬儀と墓を考える」と題する講演が行われました。講演の要旨は以下のとおり。

「かつて地域社会には、地域の中で伝承されてきた知恵・知識を獲得しながら、年齢集団の階段を昇るように段階的に一人前になっていく文化があった。

### 第54回愛媛県老人クラブ大会 大会宣言

取り組んできた。

防犯、防災などの地域の安心・安全の確立、一人暮らし高齢者の見守り、子育て世代への支援、さらに失われつつある地域の伝統・文化、豊かな経験や知識を次世代へ受け継いでいく活動など、地域社会の再生のために老人クラブが果たせる役割は決して小さなものではない。

「支えられる存在」から「地域を自ら支える存在」へ、高齢者像を一新し、安心安全に暮らすための「居場所」として広く老人クラブを活用してもらえよう、若い世代や関係機関、団体などと手を携え、「新たな絆社会」の創造を目指して次の事項の実践を誓い宣言する。

都市化の進展やライフスタイルの変化に伴い、地域の連帯感が希薄化し、地域社会の支え合い、すなわち「互助」の機能が弱体化している。また、高齢化の進展で、支援を必要とする高齢者の数は今後ますます増加して行く。このため、元気で活動意欲の高い高齢者が「地域社会を支える担い手」として、見守りを必要とする高齢者をサポートし、地域でいつまでも元気に活躍することにより、地域の共助が高まり、住み慣れた地域で健康かつ自立した生活が継続されることが望まれている。

老人クラブは、高齢者の仲間づくりと健康づくり、介護予防を基本に、環境美化、世代交流、ボランティアなど、幅広く社会に貢献する活動に

そこで得られる知識は、生や死など、時代が移っても、変わることなく世帯を超えて受け継がれてきたものであり、人間が地域で生きていくために必要な「生きる力」であった。人は進化の過程で「死」を発見したが、それを地域文化として行う事で、人は「死」を認識し、同時に自分の「生」を自覚して、人間として生きる力を獲得できたのである。

しかし、高度経済成長期以降、そういった地域伝承文化は失われてゆき、今の六十歳以上はその最後の世代といえる。人間が地域でどう育つか、死の文化を知ることは、生きていくことの証明につながる。これからの子供たちにも伝えていくべき知恵である。

講演に続いて愛媛県警察本部生活安全企画課の岡崎利樹巡查部長による振り込め詐欺講話がありました。それによると今年度の愛媛県内におけ

る振り込め詐欺被害は危機的状況でその被害額は今年八月末時点で既に三億七千六百万円に達しており、これは昨年比で一億六千万も増加しているとのことで、あらためて参加者に対し注意喚起を呼び掛けました。

最後に、地域社会を支える担い手として、介護予防活動や安心安全の地域づくりに積極的に取り組むとともに、100万人会員増強運動に呼応して会員加入促進運動を推進していくことな

### 記

「100万人会員増強運動」に呼応して、会員加入促進運動を推進する

「若い世代にも魅力あるクラブづくりを推進し、若手リーダーの組織化に取り組む

「住民共助による地域支え合い活動を推進する

「健康づくり・介護予防活動に積極的に取り組み、すべての高齢者の健康維持・増進に努める

「高齢者の交通事故撲滅運動や詐欺等の犯罪防止活動を推進し、安心・安全のまちづくりに努める

平成二十六年九月四日 第五十四回愛媛県老人クラブ大会



どを誓う大会宣言を採択して、大会は盛況裡に幕を閉じました。

### 愛媛県知事表彰受賞者氏名(敬称略)

- 松山市 橋本 亀一 十三名
- 宇和島市 浅野 義男
- 宇和島市 松谷 常道
- 八幡浜市 二宮 春藏

### 第43回全国老人クラブ大会開催!!

第四十三回全国老人クラブ大会が十一月十三日・十四日の両日大分県別府市で「のぼさうー健康寿命、担おうー地域づくりを」をメインテーマに開催され、本県からは十五名が参加しました。

初日はテーマ別に三つの活動交流部会に分かれて活動事例発表が行われました。二日目は、豊の国宇佐市塾塾生代表、教覚寺住職 平田崇英氏より「地域づくりと高齢者の役割ー今大切なこと」と題して講演がありました。アトラクションでは、庄内町伝統神楽を保育園児が見事に演じ、玖珠町の「コール・アンセム」のコーラスがありました。式典では大分県老連会長の歓迎の挨拶にはじまり、続いて全老連会長挨拶、表彰、来賓祝辞、大会宣言採択等が行われました。

### ◎受賞者

#### ◇育成功労表彰

- 鈴木 尊 (愛媛県老連会長)
- 篠崎 英夫 (愛媛県老連理事)
- ◇優良老人クラブ表彰
- 牛淵老人クラブ (東温市)
- ◇優良郡市区町村老人クラブ
- 今治市大西地区老人クラブ連合会 (今治市)

### ◎大会宣言項目

- 一、老人クラブ「100万人会員増強運動」の展開
- 一、健康長寿をのぼさう「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、生活を支援する「地域支え合い(友愛活動)」の推進



# 平成26年度愛媛県老人クラブ スポーツ大会の結果について

前日準備の日の雨天とは裏腹に、好天に恵まれた十月二十三日、愛媛県総合運動公園を会場に、五つの種目で優勝を争いました。事前に行いました「健康づくり推進振興部会」で、五競技すべての出場チーム数の見直しを行い、「スポーツ大会実行委員会」で、各主管団体の代表より了承をいただきました。出場チーム数の見直しについて



は、各市町老連事務局にアンケートを行い、希望の出場数を出してもらいました。全体の出場枠などから、すべての希望には添いかねた競技もありましたが、クロケータ競技は四十四チーム、ゲートボール競技は二十八チーム、グラウンドゴルフ競技は六十四チーム、ペタンク競技は増減なしの三十二チーム、ワナゲ競技は四十六チームとなりました。

五競技の結果は次の通りです。  
マクロケータの部  
優勝 小松地区老人クラブ(西条市)  
準優勝 上横日ノ出(宇和島市)  
三位 日土東老壮会日(八幡浜市)

ゲートボールの部  
優勝 荏原(松山市)  
準優勝 山越八千代会(松山市)  
三位 よしうみ泊(今治市)  
▽グラウンドゴルフの部  
優勝 大西新町(今治市)

久保田シルバークラブ(松山市)  
準優勝 小松地区老人クラブ(西条市)  
三位 小松地区老人クラブ(西条市)  
▽ペタンクの部  
優勝 土居チーム(宇和島市)  
準優勝 土居ひうちクラブ(四国中央市)

佐田ひまわりチーム(伊方町)  
準優勝 國永チーム(宇和島市)  
三位 高地A(今治市)  
▽ワナゲの部  
優勝 佐田ひまわりチーム(伊方町)  
準優勝 國永チーム(宇和島市)  
三位 高地A(今治市)

# 平成26年度「愛媛県老連健康づくり大学校」について

平成二十六年度は、東温市老人福祉センター(中央公民館)を会場に七月二十五日から八月十八日の間(延べ十一日間・四十二時間)に開校しました。受講者は五十九名、内訳は東温市から五十六名、松山市から三名、男性二十六名・女性三十三名、平均年齢七十五・三九歳の方でした。出席の単位不足の方一名を除き、八十七歳から六十五歳の五十七名の方が卒業され、本大学の卒業者は延六百七十三名となりました。

公開講座のアンケートより感想を拾ってみました。  
「認知症を地域で支える」  
今後のために勉強になりました  
話の事例もよく、理解しやすかったです  
こういう話は自分の子供達に聞いてもらいたい  
国民年金で入所できる施設の紹介はないのでしょうか  
自分が認知症になったら適切な介護をしていただける方にお会いできることを願っています



五競技の結果は次の通りです。  
マクロケータの部  
優勝 小松地区老人クラブ(西条市)  
準優勝 上横日ノ出(宇和島市)  
三位 日土東老壮会日(八幡浜市)  
ゲートボールの部  
優勝 荏原(松山市)  
準優勝 山越八千代会(松山市)  
三位 よしうみ泊(今治市)  
▽グラウンドゴルフの部  
優勝 大西新町(今治市)  
久保田シルバークラブ(松山市)  
準優勝 小松地区老人クラブ(西条市)  
三位 小松地区老人クラブ(西条市)  
▽ペタンクの部  
優勝 土居チーム(宇和島市)  
準優勝 土居ひうちクラブ(四国中央市)  
佐田ひまわりチーム(伊方町)  
準優勝 國永チーム(宇和島市)  
三位 高地A(今治市)  
▽ワナゲの部  
優勝 佐田ひまわりチーム(伊方町)  
準優勝 國永チーム(宇和島市)  
三位 高地A(今治市)

# 平成26年度高齢者の体力測定啓発・普及モデル事業について

健康で生きがいのある生活を過ごすためには、それに必要な体力が必要で、そのためには、まず自分の体力を客観的に評価する必要があります。椅子や床から立ち上がり、歩行ができ、六分間程度は歩き続けることができ、一人でも公共交通機関を利用して外出することができる。片足で二分間程度は立っていることができるなど、二回で四回、同じ人への体力測定を実施し、その結果で、自分の弱いところをみつけ、体力の維持を図ることを目的に平成十九年度から開催しています。県内二十市町が一巡し、松山市、四国中央市、西予市は二順目を実施しています。

# 平成26年度高齢者相互支援事業について

県老連は、引きこもりがちな高齢者を地域で支えるため、モデル地区を指定して友愛活動を行う「高齢者相互支援推進事業」を毎年実施しております。これは、老人クラブ会員が地域の一人暮らしや引きこもりがちな高齢者等を訪問して必要な情報を届けたり話し相手となったりして、地域社会の絆を保つとともに高齢者同士の支えあいの輪を広げていこうという活動です。本年度はモデル老連として西条市丹原地区、久万高原町、松野町が指定されました。また三月十二日には、各モデル老連のシルバリーダーが一堂に会し活動

します。地元で、自分達で実施してみたいかがでしょうか。興味のあるクラブは市町老連を通じて、いつでもお申し出ください。



県老連では、今後事業を進めるにあたり中心的役割を担うシルバリーダーをモデル老連ごとに約二十名選任し、昨年八月、各モデル市町において相互支援推進連絡会議とリーダー養成セミナーを開催しました。セミナーでは、シルバリーダーのみならず一般の会員も参加して、県生涯学習講師による講演や活動の進め方を丁寧に解説したビデオの上映が行われ、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。また三月十二日には、各モデル老連のシルバリーダーが一堂に会し活動

# 平成26年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会 愛媛県で開催!

中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会は、中国・四国地方の県・指定都市老連が毎年持ち回りで開催しておりますが、本年度はこの愛媛県が主催県にあたり、七月三日・四日の二日間にわたって松山市の道後プリンスホテルで開催されました。当日は十一の県・指定都市から愛媛県参加者七十三名を含む二百七十三名が一堂に会し、様々なテーマについて活発な討議が行われました。

初日は開会式に続いて全国老人クラブ連合会事務局の谷野香参事から「全国『100万人会員増強運動』の推進」と題して基調報告があり、その後四つの分科会に分かれての研修がありました。

そのうち第四分科会では「会員の加入促進と魅力ある老人クラブづくりの推進」をテーマに研究討議が行われ、ここでは本県から今治市老人クラブ連合会会長の新居田利忠さんが、地元大西地区の会員増強対策とその結果についての活動事例発表を行いました。この第四分科会には、四つの分科会の中では最も多い九十名が参加して活発な情報交換が行われるなど、会員の関心の高さがうかがえました。

## 第26回 全国老人クラブ女性リーダーセミナー

### ～本県から女性委員2名が初参加～

全国老人クラブ連合会は、今年度から「老人クラブ高齢消費者被害防止」キャンペーンと「老人クラブ『100万人会員増強運動』」という二つの全国運動を開始しました。仲間づくりを通じて、同世代の支え合い、地域づくりをめざしており、これらの取り組みには、地域に密着した女性会



二日目は、松山市民病院の脳神経外科部長で、本の執筆やラジオのゲストとしても著名なDr.角南こと角南典生先生による「あなたの脳は大丈夫? 認知症にならないコツ、脳卒中で倒れないコツ」と題した講演が行われた後、各分科会からの報告や質疑、講評等があり、次期開催地である広島市老連の児玉吾郎会長の挨拶および愛媛県老連の鈴木尊会長の閉会挨拶があつて、盛会の内に終了いたしました。

## 第26回老人クラブ女性リーダーセミナー参加報告

### 東温市老人クラブ連合会 奥田 幾世

平成二十六年十月二十一日・二十二日の両日、東京都千代田区新露が関ビルに於いて、女性会員の力を地域やクラブで発揮しようとのテーマの基、全国から五十九名参加者の女性リーダー百十五人が集い、熱心に討議を行いました。

全国老人クラブ連合会女性委員長駒場玲子氏、全国老人クラブ連合会常務理事 齊藤秀樹氏の挨拶にて研修は始まり、全老連小野善彦氏の基調報告二題が行われ、一題は開催趣旨に沿い会員減少に伴う「100万人会員増強運動」について、仲間づくりを通じて、同世代の支え合い、地域づくりを目指すとし、また、高齢者をねらう詐欺被害の防止に向けた「老人クラブ高齢消費者被害防止」については、地域の見守りを通じて、同世代の被害防止を目指します、と述べました。

基調報告もう一題は、新地域支援事業へ向けての緊急提言(案)について、在宅介護者への支援及び介護制度の見直しの必要、高齢者の三つの不安である「健康」「お金」「孤独

には、愛媛県からは明石秀美さん(新居浜市)と奥田幾世さん(東温市)の女性委員2名が参加されました。お二方ともにこのセミナーには初参加で、会場までの道中も含めすべてが初めての経験であり、全国の女性リーダーとの交流や情報交換を通じて、新鮮な驚きと良い刺激を得ることができたのではないのでしょうか。この経験をぜひとも今後の地域活動に活かしていただければと思います。

の解消が望まれると報告しました。

全老連保険係より老人クラブ傷害保険について、平成二十六年から賠償責任保険がスタートし、金額的にも入りやすい保険として普及に取り組み、その新メインテーマ「のぼろ健康寿命、担おう地域づくりを」を掲げて地域の協力を依頼しました。

続いて、高齢消費者被害防止活動及び会員増強運動についての事例発表がなされた後、グループ協議に移り、活発な意見交換がなされ協議した結果「100万人会員増強運動」については、市区町村の老連女性部会を軸として仲間意識をより一層高め、女性の力を遺憾なく発揮して会員加入運動の推進につなげ、加入に協力を依頼するということになりました。

また、高齢消費者被害防止活動キャンペーンについて討議がなされ、単位クラブにおける見守りサポーターの設置をし、日々の生活を通じて情報を伝え、気にかけて、地域の見守りを通して仲間意識を高めて同世代の被害防止につなげていくことが大切である、といった意見が出されました。

さらに、消費者被害で困っているというサインやその状況の様子等を見逃さないで、関係機関とのパイプ役となり被害防止に努める事がサポーターの役割として、活動を推進していくことを望むといった討議がなされました。

二日目九時三十分より全国消費生活相談員協会専務理事、柳川淑子氏による「高齢者の消費者被害を防止するために老人クラブに期待するこ

と」と題して講演が行われ、次のように述べられました。「高齢者が安心及び信頼できる相談者が必要。自分自身が抱え込んでしまう事例が多く、誰にも話さない、相談しない人がいる事実の中で、信頼関係をお互いに築きながら話し相手となることが大切であり、「クーリングオフ」について知ることでも大事なことです。

と特定記録郵便または書留の受領書を一緒に保管しておくことが大切」と話されました。休憩後全体会が開かれ、それぞれの部会報告があり、各グループの討議内容の取り纏めが報告された後、閉会式が行われました。リーダーとして地域に密着した会員の皆さんの討議や、活発な意見発表で女性リーダー育成の研修に参加した意義と、私たちの市老連に於いて研修した独自の目標や計画を策定して、地域の支え合いに参加し、女性会員の力を発揮し運動の推進につなげていくことを心に誓いました。

平成25年10月1日改定 平成25年9月1日以降のお申込みから適用

## 老人クラブ傷害保険

日常生活で高い事故率 (老人クラブ活動中以外の事故) 普通傷害保険事故率の2倍以上になる **6%**

えっ!! なんと2倍以上 6.0% (総合型データ) 2.8% (一般データ)

総合型 クラブ活動型

〈クラブ活動型〉+〈24時間型〉 24時間いつでも、どこでもケガが心配 という方におすすめ 年間掛金 3,500円・5,000円・10,000円

クラブの行事や活動によく出かける という方におすすめ 年間掛金 500円・1,000円・2,000円

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

専用FAX 03-3597-8767 03-3597-8770

この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日始期以降用)」「重要事項説明書(ご加入の際の注意事項)」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険ホームページ(http://www.senior-ld.com/)でも確認いただけます。

# 平成26年度 県老連女性リーダー研修会開催される

平成二十六年年度の県老連女性リーダー研修会が十二月十日、ひめぎんホール別館第十一会議室において開催され、県下各地から女性リーダー八十二名が出席しました。

近年、特殊詐欺や悪徳商法被害が増加の一途をたどり、その手口もより組織的かつ巧妙なものになっていきます。特に愛媛県では、今年度、高齢者の被害総額が昨年と比べても爆発的に増加しており、被害防止に向けた効果的な対策が喫緊の課題となっております。

全国老人クラブ連合会でも、『高齢消費者被害防止キャンペーン』を打ち出すなど、本腰を入れて取り組みを始めました。

そこで県老連では、本年度の女性リーダー研修会を、特殊詐欺・悪徳商法撃退講座と位置付けて研修を行いました。

研修会はまず高岡小夜子県老連女性委員長（伊予市）の開会挨拶で幕を開け、続いて悪徳商法をテーマに愛媛県消費生活センターによる講座が行われました。ここではまず、消費生活センターの活動や相談内容などについて説明があり、続いて、センターの啓発グループによる簡単な性格テストや寸劇が行われ、自分が許

欺に遭いやすいタイプかどうかを判定したり、詐欺の具体的な手口について学んだりしました。また、詐欺に遭わないためのポイントを歌詞にした「そこけ音頭」という替え歌を皆で合唱して前半の講座は終了しました。

休憩をはさんで、後半は、新居浜市老連の明石秀美さんによる全国女性リーダーセミナー報告から始まりました。この中で明石さんは、全国から集まった女性リーダー達の活動的な姿や活発な協議に感銘を受けたことや、現

在地元で女性会員が主体となって進んでいる休止クラブを復活させる活動について話されました。

その後、愛媛県警の犯罪抑止対策係長、安藤俊太郎警部補による特殊詐欺についての講話がありました。安藤警部補は愛媛県の被害状況や対策について説明し、「犯人グループは訓練されたプロの詐欺集団であり、相手のあらゆる反応を想定したシナリオを駆使して相手を洗脳してしまうので、騙されずにいるのは至難の業」と述べ、電話帳から名前を削除したり、在宅時も常に留守電設定しておくなど、彼らと接触する機会そのものを減らす対策が有効であると話しました。そのあと、特殊詐欺についてのビデオで、詐欺を

見抜くためのキーワードなどを学びました。

普段冷静な時であれば、なぜこんな方法で騙されてしまうのか信じられないと誰もが考えることでしょう。しかし詐欺師は不安や懸念を煽り、感情に揺さぶりをかけて、理性的な判断を行えないようにします。また、人は一度自分が正しいと思えば、つじつまの合う話や都合のいい話ばかりを求め、おかしな点があっても無視してしまいます。正常な判断力が働かなくなり、周囲の言葉も耳に入らなくなるのです。安藤警部補によれば、被害者の九パーセントは「手口は知っていたし、自分が騙されるとは思わなかった」と証言していることです。

「自分は大丈夫」というその自信過剰こそがタマされる原因の一つです。知識があっても注意していても誰もが簡単に騙される事を、まずは自覚しましょう。そして、災害に備える避難訓練のように、詐欺の手口やキーワード、対処法などをしっかりと頭に刻み込んでおくこと、家族とよくコミュニケーションをとり、身内だけの約束事を取り決めておくことが大切です。

今回の研修会で学んだことを、皆さんの生活や地元での活動に活かして、また周囲の方々にも伝えていっていただければと思います。

**2014年新発売** 老人クラブ 損害保険付帯 **賠償責任保険のご案内**

活動中に誰かのケガをさせてしまった、誰かのモノを壊してしまった!!

対人事故 お一人あたり **年間掛金100円** (月約8.3円) の保険です。

対物事故 対人賠償 1億円

対物賠償 1億円

保険期間 10月1日(午前0時)～翌年10月1日(午後4時)

申込締切 9月15日まで(申込書類必着のこと)

中途加入 全会員一括で加入の場合のみ中途加入可

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

TEL 03-3597-8767 03-3597-8770

**会員章を胸に** 老人クラブ活動強化資金造成のために 全国老会員章の普及をはかりましょう。

お申し込みは市町老連事務局へ…一口 1,000円

略称 末広鶴と日の丸

意味 鶴(高齢者)が両翼を扇(末広)状に広げて、日章(日本)を担っている図。すなわち高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭を支えてきたものであることを表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えね活動意欲を象徴する。

色彩 内側の円(日章)が赤。外側が鶴で白。外周線は金色。

愛媛県老人クラブ連合会 編集 **愛唱歌集**

みんなでうたう **愛唱歌集**

●定価はお手頃700円(税込)。送料は2冊まで350円

③冊以上まとめて申し込まれると無料になります。

★お問い合わせは愛媛県老人クラブ連合会事務局へ。

教育図書株式会社

**振り込め詐欺**

**高齢者の被害多し!**

あわてない! 一人で判断しない! 相談する!

愛媛県内において、高齢者を狙った詐欺が多発しています。特に、高齢者が狙われやすい詐欺の手口は、次の3つです。

①息子や孫を装い「急にお金が必要になった」と言って騙す「オレオレ詐欺」、

②市役所職員等を装い、医療費や保険料の払い戻しがあると偽りATMへ誘導させる「還付金詐欺」、

③株や社債、外国通貨購入等によるもうけ話を持ちかける「利殖勧誘詐欺」です。

お金の絡む電話がかかってきたら、まずは一呼吸おいて、「もしかして詐欺かも!？」と身構え、家族や警察に相談しましょう。

**～効果の高い被害防止対策～**

**在宅時も留守番電話に設定**

あんしん♪

犯人と直接話しをしないため、時間と気持ちに余裕が生まれます。お金を振り込む前に家族に確認、警察に相談をしましょう。

愛媛県警察総合相談窓口 089-931-9110



## 第2回若手委員会

### 会員増強部会合同会議 開催報告

平成二十六年二月十九日(水)午後一時より、第二回愛媛県老連若手委員会と会員増強部会の合同会議が、ひめぎんホール別館第十三会議室において開催されました。参加したのは、若手委員十八名とオブザーバー十名、会員増強部会のメンバー十五名、そして講師として招かれた高知県老連若手委員会委員長の高知啓之氏と助手を務める高知県事務局の津野理枝氏、愛媛県老連から鈴木会長と前会長佐々木秋由氏、事務局職員二名の総勢三十九名です。

## 老人クラブ全国100万人会員増強運動

### 総力を結集して

### 愛媛県1万人会員増強を達成しよう!

年々高齢者人口が増加する中、老人クラブの会員数は逆に減少し続けています。

このような状況を打破するため、愛媛県老人クラブ連合会では、全国老人クラブ連合会が展開している「100万人会員増強運動」に呼び応じた取り組みとして、「愛媛県1万人会員増強運動」を実施することになりました。

運動期間は平成二十六年度から平成三十年度の五年間で、愛媛県で一人会員増強を目指します。老人クラブの活性化は会員一人ひとりの熱意にかかっております。まずは次にあげる三

の土居啓之氏による基調報告が行われました。土居氏は、高知県老連の若手委員会立ち上げの経緯や、発足から現状までを例に、現在の老人クラブが抱える問題や課題、若手委員会の活動内容など、パワーポイントを使って丁寧に説明されました。説明の後、高知県で開催され、若手委員会も運営にかかわった「ねんりんピック 地域伝承館」のDVDを鑑賞しました。

その後質疑応答が行われ、発足から六年を経て、どのような成果があったか、進捗状況を聞きたいとの質問に対し、土居氏は「若手委員会を立ち上げてから、最初の二年間は研修会をしたり、いろいろな事業をしたが、その後二年間活動が停滞していた。しか

つ会員増強運動から始めよう!」  
「動勝から始めよう!」  
「会員一人ひとりが動勝の担い手です!」  
「まず、誘うこと」。勧誘活動は会員増強の基本です。

「クラブをPRしよう!」  
「知られていますが、あなたのクラブ!」  
「会員準備はあなたの地域にいます。日頃からクラブの情報が地域住民に届くようにしましょう。」  
「クラブをつなぐよう!」  
「すべての地域にクラブの設置を」

し、地域伝承館事業に若手委員会が関わったことを機に、クラブの中で、行動力のある人を中心に事業をしよう、若手を役員に起用しようという機運が生まれてきたように思う。そういう意味ではこの六年の間に、少し意識改革が進んだようだ。若手を中心に活動すれば何事もスムーズにいける事は事実。やはり先輩が若手を信頼し、自由にやらせてみようという意識改革をすすめる事が大切だと思う。」と語りました。

この後意見交換が行われました。後半は、会員増強部会を中心に議論を行いました。岡田事務局局長による「100万人会員増強運動」についての説明のあと、会員増強運動における市町老連や若手委員の役割などについて意見交換が行われ、第二回若手委員会・会員増強部会は終了しました。

自治会と連携して未設置地域に老人クラブをつくりましょう。また、解散の近隣クラブをホスト役に老連と連携してクラブを再生しましょう。

平成二十六年度から、新設または復活したクラブを愛媛県老人クラブ大会において表彰することになり、初年度は十六クラブが表彰されました。また、年間に五人以上増加したクラブに贈られる会員増強クラブ表彰も百二十三クラブが表彰されました。来年度も多くのクラブが表彰されますよう期待しております。



## 県老連女性委員会

### 開催される

県老連女性委員会が任期満了となり、平成二十六年三月十四日に開催された県老連理事会において各市町老連から推薦のあった十二人の方が新たに女性委員に選任されました。任期は平成二十八年三月三十一日までの二年間です。

年度が変わった四月二日には早速女性委員会が開催され、今回新しく選任された女性委員が顔をそろえ、女性委員長の高岡小夜子氏(伊予市)と副委員長の北ヤヨ子氏(西条市)、酒井スナラ氏(八幡浜市)が共に留任となりました。

その後協議に移り、七月開催の平成二十六年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会二日目に、行われるいきいき体操の指導について話し合われたほか、情報交換などを行いました。

なお、選出された女性委員長は県老連の副会長を、また副委員長は評議員をそれぞれ務めます。



### 事務局のついで

明けましておめでとごいさいます。平成二十六年版「愛媛県老連だより 歳遊記」を皆様にお届けいたします。本年度も引き続きよろしくお願ひ申しあげます。

今年度最大のイベントだった平成二十六年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会は、お陰をもちまして、大きな混乱やトラブルもなく盛況のうちに無事終了することができました。

これもひとえに本研修会を支えてくださった皆様方のご協力・ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

この研修会が愛媛県で開催されたのは、平成十六年以来実に十年ぶりです。前回は二泊三日の日程でしたが、準備の大変さという点では今回はずっとマシンなはず。だったので、前回と比べるとスタッフが少ない上に、全ての分科会にパワーポイント用のパソコンをセッティングなどという、かつては存在すらしなかった新たなお仕事があったりして、それなりに大変。

（事例発表の際に写真などを写すアレです）には泣かれました。会場の都合で準備が前日の夜になり、悪戦苦闘の末、真夜中までかかって準備したのはいいのですが、当日開会直前になって、まともに作動しないことが判明し、全てのセッティングをややり直す羽目に一きりぎりでなんとか本番には間に合わせましたが、冷や汗ものでした。

でも、この程度のハプニングで済

めば、運営側としては御の字です。事務局にとって最大の悪夢は、台風の直撃などで参加者が来られなくなることで、講師が当日現れないこと。香川県での夏に開催された四国大会では、残念ながらこの悪夢が現実のものとなってしまいました。

この大会では高知県から百六名もの参加申し込みがあり、会場の収容人数ぎりぎりになってしまったため、香川県老連では、この手の大会としては異例の全席指定に踏み切ったのですが、大会数日前に吹き荒れた台風十二号の影響で、高知から香川への交通網が寸断されてしまい、高知県からの参加がほぼ絶望的に

実際、百六名の内なんとか参加できたのは九名ほどで、会場の正面全体がぼっかりと空いてしまう事態となりました。不可抗力とはいえ、全席指定が完全に裏目に出ってしまったと、事務局スタッフの嘆息が聞こえます。ええ、その気持ち、痛いほどわかります。

どれほど周到に準備しても、予期せぬ出来事は起こるもの。「人事を尽くして天命を待つ」と開き直って見たところで、ハラハラドキドキのスリルとサスペンスからは逃れることはできないのです。

今後、大きなイベント等に参加される折に、舞台裏でどんなドラマが進行しているのかに思いを馳せてみると、これまでとは全く違った興味深い側面が見えてくるかもしれません。

それでは皆様、第五十七回四国老人クラブ愛媛大会で、お会いいたしましょう。◎